# 株主メモ

事業年度 定時株主総会

基準日 株主名簿管理人

#主総会 毎年6月 毎年3月31日

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

4月1日から翌年3月31日まで

郵便物送付先

電話照会先

東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031

**T168-0063** 

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。

## ホームページのご案内

## 当社のホームページで 決算説明動画をご覧いただけます。

株主や投資家の皆様に当社のことをよりご理解いた だくために、決算説明動画を配信しています。動画 では、業績ハイライト、今後の取り組みや戦略、業 績予想のポイントを中心にご説明していますので、 ぜひご覧ください。

今後も株主・投資家の皆様にタイムリーで分かりや すい情報発信を目指し、IR活動の向上に取り組んで まいります。

決算説明の動画はこちらから ご覧いただけます





https://www.seikoh-giken.co.jp/irinfo/index.html





## 株式会社 精工技研

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台296番地の1 https://www.seikoh-giken.co.jp/





# 株主通信

2022年3月期(第50期)第2四半期事業報告 2021年4月1日~2021年9月30日

精工技研の

社会に必要とされる 企業グループであるために

サステナビリティ

## 業績ハイライト

# 環境変化に柔軟に対応しながら、 継続的な企業価値の向上に 努めてまいります。

代表取締役社長 上野 昌利



#### 2022年3月期 第2四半期の業績について

当第2四半期の情報通信・エレクトロニクス関連市場において は、5Gの本格的な普及期に向けて、引き続き基地局や光通信イ ンフラの整備が進められました。自動車関連市場においては、新 型コロナウイルスの感染が拡大している東南アジアからの部品調 達が滞り、自動車メーカー各社が減産を余儀なくされる事態が生 じることとなりました。

こうした中で当社グループは、2016年度から取り組んでいる 6ヶ年の中期経営計画『マスタープラン2016』に基づき、引き続 き「既存事業の収益力強化」、「事業ポートフォリオの最適化」、「経 営基盤の強化しの各施策の遂行に努めました。

「既存事業の収益力強化」に向けては、各種の成形品や金型、 精密金属加工部品等を主力製品とする精機事業、光通信用部品 とその関連機器、レンズ、光伝送装置や光電界センサー等を主力 製品とする光製品事業の両セグメントにおいて、販売力と価格競 争力を強化すると共に、新製品、新技術の開発に努めました。「事 業ポートフォリオの最適化 | に向けては、「成長期待事業 | に位置

付けている精密樹脂成形品やレンズを「成長牽引事業」へと進 化させるべく、新規顧客の開拓に取り組みました。「経営基盤の 強化 に向けては、本社において働き方改革「メリハリワーク」 を推進し、より短い時間でより多くの収益を上げる強固な組織体 質の確立に努めたほか、WEB会議システムを積極的に活用し、 グループ会社間の連携強化に取り組みました。

こうした施策と並行して、当第2四半期連結累計期間において は、当社グループの各拠点において、引き続き出張の自粛や来客 の自粛要請、自家用車通勤や時差出勤の奨励、昼食時間の二部 制による食堂の過密の回避、出勤時の検温、マスクの着用義務 や手洗いの徹底といった新型コロナウイルスの感染予防対策を講 じました。

こうした結果、当第2四半期の売上高は7.600百万円となりまし た。 損益面では、営業利益は645百万円、経営利益は661百万円、 親会社株主に帰属する四半期純利益は427百万円となりました。

#### セグメント別の業績について

#### 精機事業

当第2四半期においては、新型コロナウイルスの感染が拡大し ている東南アジアからの材料供給が停滞し、自動車メーカー各社 が工場の稼働を一時的に停止する事態が生じました。しかしながら、 各国の景気が回復していることを受けて自動車の世界需要は増加 しており、車載用インサート成形品の売上高は、前年同四半期か ら増加することとなりました。また、スマートフォン等に使用される 金属プレス成形品は、新型コロナウイルスの感染拡大が著しいイ ンド等でスマートフォンの消費が落ち込んだほか、半導体の供給 不足に起因する減産等により、売上高が減少することとなりました。

これらの結果、当第2四半期の精機事業の売上高は4.084百万 円、営業利益は185百万円となりました。

#### ● 光製品事業

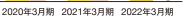
5Gの本格的な商用化に向けて、また新型コロナウイルスの感 染拡大を契機としたデジタル化に伴い、世界各国で光通信インフ ラの増強が進められています。大容量のデジタルデータを保存す るためのデータセンターも、半導体不足の影響により一部でサー バーの供給が停滞したものの、各国経済の回復を受けて新規建 設が増加基調で推移しています。こうしたことを背景に、当第2 四半期においては光通信用部品の売上高が増加しました。光通信 用部品を製造する際に不可欠な光コネクタ研磨機や光コネクタ端 面検査装置等も需要が高まり、機器・装置関連も売上高が増加 することとなりました。

これらの結果、当第2四半期の光製品事業の売上高は3.515百 万円、営業利益は459百万円となりました。

#### 業績・財務グラフ(単位:百万円)

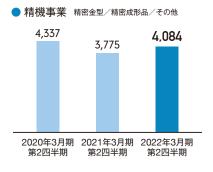








#### セグメント別売上高推移 (単位:百万円)







※当期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。

# 精工技研のサステナビリティ

# 社会に必要とされる 企業グループであるために

# 商品・サービスで 社会の進歩発展に貢献する<sub>|</sub>





## 光通信インフラの構築を支え、 快適なインターネット環境を提供

当社グルーブは、電話回線でインターネットをつなぐダイヤルアップ接続が主流であった1980年代に、将来を見据えて光通信市場へと参入しました。以来、市場をリードする商品を数多く開発。中でも光コネクタ研磨機は、それまで手作業で行っていた光コネクタの端面研磨を世界で初めて機械化し、量産化を実現した画期的な商品で、現在では世界中の光コネクタメーカーに採用されるデファクトスタンダードとなっています。



光コネクタ研磨機

光コネクタ

## より安全で快適な運転環境を実現する 自動車部品を開発

精密金型技術、精密成形技術、インサート成形技術等の技術 資源をベースに、自動車用部品を提供しています。エアコンやブレーキ等のセンサー用部品、太陽光を感知するセンサー、電子基盤を収納するコントローラー用ユニットケース、タッチパネル用導光体等、様々な部品が世界の自動車メーカーに採用されています。電気自動車や燃料電池自動車等、大きな変化点にある市場において、当社グループに対するニーズはますます増えています。



各種センサー用部品



コントローラー用ユニットケース

精工技研は2022年6月をもって創業50周年を迎えます。50年間にわたり事業を継続することができたのは、変化する市場環境の中で、それぞれの時代に求められる商品を供給し続けることができたから。これから先も、社会の進歩発展と維持継続に貢献し続ける企業グループであるために、引き続き努力してまいります。

# 「企業活動で 社会の維持継続に貢献する」





#### 安定した品質の商品をグローバルで提供

当社グループは、環境保護への最大の貢献は「不良品を出さないこと」と認識しています。不良品を出せば、その生産に費やした材料だけでなく、時間や電力も無駄になってしまいます。そこで、当社及び子会社の不二電子工業、杭州精工技研、大連精工技研で品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証を取得。併せて2019年からは、世界のお客様に対して安定した水準の商品を提供できるよう、「グローバルQCミーティング」を開始しています。当社グループにとっての「当たり前品質」を各生産拠点で共有し、不良品ゼロに向けた改善活動を展開しています。



中国の子会社、大連精工技研で実施したグローバルQCミーティング(2020年1月)

### 温室効果ガスや産業廃棄物の削減活動

当社グループの日本と中国の生産拠点では、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得しており、省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の削減とリサイクルの促進、地球環境保全に配慮した商品の開発等を通じて地球環境の維持に努めています。また最小の資源と時間で最大の収益を上げるべく、働き方改革などの生産性の向上に取り組んでいます。現在策定中の新たな中期経営計画の中では、2050年のカーボンニュートラル達成を見据え、温室効果ガスの排出削減活動も検討中。当社グループは、中長期にわたり、循環型社会の形成に積極的に貢献していく方針です。



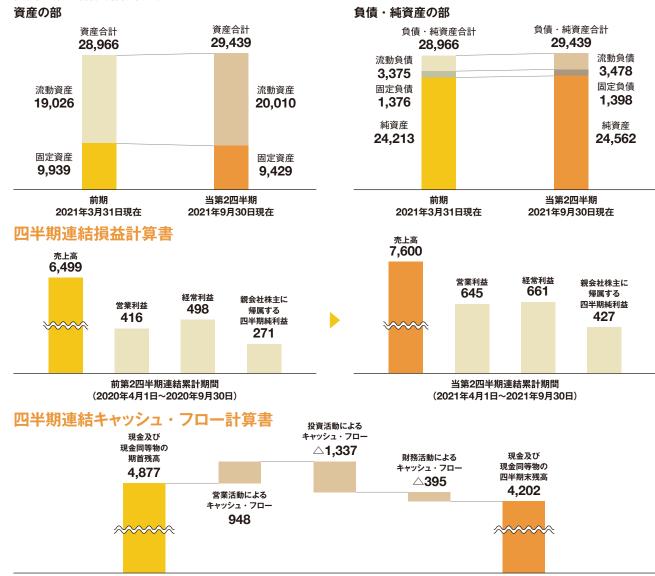
樹脂材料の廃棄を減らす金型設計

3

# 連結財務諸表(要約)

単位:百万円、単位未満切り捨て

## 四半期連結貸借対照表



当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日~2021年9月30日)

# 会社情報/株式情報

(2021年9月30日現在)

#### 会社概要

会社名 株式会社 精工技研

本社 千葉県松戸市松飛台296番地の1

創業 1972年6月

資本金 6,791,682,700円

事業内容 精機事業

自動車用部品、電子部品等の精密成形品や

各種精密金型、精密金属部品等の製造及び

販売

#### 光製品事業

光通信用設備に用いる光部品や光部品製造機器、光部品形状測定装置、無給電光伝送装置、光電界センサ、高耐熱レンズ等の製造

及び販売

従業員数 887人

#### グループ会社 子会社

SEIKOH GIKEN USA, INC.

杭州精工技研有限公司

SEIKOH GIKEN EUROPE GmbH

大連精工技研有限公司

不二電子工業株式会社

DATA-PIXEL SAS

#### 関連会社

浙江精工光电科技有限公司

## 役員

代表取締役社長

1 02(-)(1			
専務取締	<b>帝</b> 役		木村 保
常務取締	<b>帝</b> 役		來 関明
常務取締	<b>帝</b> 役		上野 淳
取締役	(社外取締役)		大久保 勝彦
取締役	(社外取締役)		谷田貝 豊彦
取締役	(監査等委員)		森 保彦
取締役	(監査等委員、	社外取締役)	三好 徹
取締役	(監査等委員、	社外取締役)	相場 俊夫

上野 昌利

### 株式の状況

発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式の総数	9,333,654株
株主数	2,843名

#### 所有者別株式分布状況

